



## 中部地方整備局ダム事業費等監理委員会及び部会（設楽ダム建設事業部会） を受けた豊橋市長コメント

令和4年5月17日に国土交通省中部地方整備局管内で進めている設楽ダム建設事業について、「中部地方整備局ダム事業費等監理委員会及び部会（設楽ダム建設事業部会）」が開催されたことを受け、浅井豊橋市長のコメントを発表します。

### ＜浅井市長コメント＞

今回の中部地方整備局ダム事業費等監理委員会及び部会（設楽ダム建設事業部会）において、設楽ダム建設事業の計画変更が示され、設楽ダム完成時期が8年延伸され令和16年になること、総事業費が約2,400億円から約3,200億円となることが発表されたことを、重く受け止めました。

しかしながら、総事業費や事業工期の変更要因については、「法改正に伴う働き方改革や物価上昇」、「地質調査結果によるダム本体及び付替道路の工法変更」等、社会的要因の変化や現地の調査結果に適切に対応するものであり、やむを得ないものと理解しました。

今回の計画変更に伴い、付替道路の供用や生活再建対策にも影響が生じると思われますが、我々、豊川下流の受益地域としても水源地域の住民の皆様への生活再建対策は重要と考えており、できる限り元の計画に沿ってしっかりと取り組んでいただこうと申し入れをしていきます。

また、豊川下流域の治水安全度向上のために、令和3年度末に策定した豊川水系流域治水プロジェクトにおいて、流域市町が一体となって様々な取組みを進め、洪水時の被害軽減につなげているところですが、国においても着実に整備を進めていただくとともに、特に霞堤地区については、今よりも、少しでも早く、少しでも安全になるよう、「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画」に基づき、早期に事業を進めていただきたいと考えています。

いずれにしても、国に対しては今後とも豊川の治水対策の促進について申し入れを行っていくとともに、設楽ダム建設事業は東三河地域の発展のために重要な事業でありますので、引き続き下流域自治体が一体となり、様々な取り組みを進めてまいりたいと考えています。

＜参考＞【中部地方整備局 ホームページ】

○「令和4年度中部地方整備局ダム事業費等監理委員会及び部会（設楽ダム）を開催  
～設楽ダム建設事業の実施状況等について意見を伺います～」プレスリリース資料

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisya/kisyalist/2022/5>

○当日資料は、以下のとおりです。

[https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/damu\\_kanri/index.html](https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/damu_kanri/index.html)

問い合わせ先 政策企画課 課長補佐 鈴木 薫（電話 51-2185）

